

なかの



2月号

# 市議会だより

2026年(令和8年)  
2月5日発行  
No.83

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



「馬乗り達磨」「馬乗り獅子」「飛び馬」

●市政一般質問	意見書案	陳情	請願	事件案	予算案	規則案	条例案	●議案件数および議決内容	会期	閉会	開会
34件	1件	1件	1件	7件	7件	1件	14件		16日間	12月17日	12月2日
	可決	採択	不採択	可決	可決	可決	可決				

12月定例会

## 議会だよりの発行にあたり



中野市議会議員 芦澤孝幸

市民の皆さまには、日ごろから、中野市議会に対しまして、温かいご支援、ご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大阪・関西万博の開催をはじめ、世界に日本の魅力を発信する出来事がありました。また、北川進教授、坂口志文教授がノーベル賞を受賞するなど、未来への希望を感じさせる一年となりました。

本市においても、中野市誕生20周年を迎え、10月7日に挙行された「中野市誕生20周年記念式典」のほか、さまざまな記念事業が開催されました。

一方で、社会経済環境は、人口減少・少子高齢化社会の進行や原材料価格、エネルギー価格の上昇により、物価の高騰等の影響で大きく変化してきており、私たちの暮らしに直結する課題も浮き彫りとなりました。

こうしたなか、本市は、本年、「第3次中野市総合計画 前期基本計画」がスタートする年でもありません。

2026年の干支は「丙午」で「情熱と推進力にあふれた年」と言われていますように、新たにスタートする年としてふさわしく、次世代を担う若者と共に、将来都市像である「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」の実現に向け、さらに加速した、各種施策の取り組みに、議会といたしましても、積極的に支援してまいりたいと考えております。

本年も、中野市議会は、二元代表制の一翼を担う議決機関として、積極的な政策提言と、公正な行政執行のチェック機能をしっかりと果たしつつ、市民の声に耳を傾け、持続可能で活力ある地域社会を築くため、議会として責任ある議論を重ね、市民の皆さまと共に歩んでまいります。

また、教育・文化の振興、若者の定住促進など、未来を見据えた施策を一層強化し、「住み続けたいまち中野」を実現してまいるとともに、未来を担う世代が夢を描ける環境を整えてまいります。

「情熱と推進力にあふれた年」と言われていますように、新たにスタートする年としてふさわしく、次世代を担う若者と共に、将来都市像である「緑豊かなふるさと文化が香る元気なまち」の実現に向け、さらに加速した、各種施策の取り組みに、議会といたしましても、積極的に支援してまいりたいと考えております。

## 市民参画の市政運営について



高木 尚史



**質問** 市民共有の財産である学校給食センター新設総合計画と(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)に対する策定方針と公表方針はどうか。

**答弁** 策定方針の決定方法には、策定過程から市民と協働で進める方法と市で検討後、市民に公表していく方法がある。学校給食センターについては、定例教育委員会や学校給食センター運営委員会の了承を得て進めている。美術館については、専門家や職員による検討を行い、令和8年1月の市民説明会で意見を聴く機会を設けることとしている。

**質問** 美術館建設の再検討を求める請願や多くの署名についての見解はどうか。

**答弁** 市民が高い関心を持っていることは十分認識しており、美術館建設計画実現に向け理解を求めていく。

**質問** これまで提出されている署名などについての見解はどうか。

**答弁** 署名の人数については、それが中野市民であるのか、成人であるのか数字が独り歩きをしているように思える。真水の部分を知ってみたいと思う時がある。

**質問** 市民の声を聴くために「私の

提言」を受けているが、提案件数と提言内容と結果はどうか。

**答弁** 例年、道路、教育、子育てなど多岐にわたるご意見・ご要望があり、市政運営の参考にしている。提言者へは直接回答しているほか、公式ホームページで、提言者の了解を得て掲載し市民への周知をしている。

## 『彼女、お借りします』による地域活性化事業について

**質問** 事業の成果と課題はどうか。

**答弁** 市の共催による「なかのかの祭り祭」では全国から約1千500人が来場。一定の経済効果もあり、関係人口・交流人口拡大につながっていると考えている。キャラクターを活用する際は、多くの方が目にすることを意識しながら事業を行いたい。

**質問** この事業について、市に対して、例えば「いかがなものか」ということでご意見や問題提起などがされた事例はあるか。

**答弁** 作品については人それぞれ考え方・感じ方も異なるため、さまざまな意見がある事は承知している。よく検討し、事業を進めていきたい。

**質問** 原作者者に対する許諾料金と事業費と財源内訳はどうか。

**答弁** 著作権使用料は137万5千円、マンホールデザイン使用料22万円、懸垂幕等の制作費用86万9千円などで、事業費の2分の1が国から交付金として交付される。



松樹 純子

(仮称) 中野市美術館建設基本計画について

質問 計画公表後、市民から反対や慎重な進め方を求める声、市民の意見を聴いてほしいとの声が寄せられたが、それを理事者、関係部署で共有しながら、市民説明会を行うことを考えなかったのはなぜか。

答弁 方向は決まっている中でいただいた意見であり、市の内部での検討材料だと思っている。

質問 (仮称) 中野市美術館建設基本計画策定にあたり、市の計画策定の「策定過程から市民と協働で進める方法」と「市において検討のうえ市民に公表する方法」のうち、後者の方法を採用した理由は。

答弁 技術的な要素や専門的な知識が必要のため、まず専門家や職員で検討し、その結果を市民に公表する方法を採用した。

質問 その場合、市民の意見はどう反映されるのか。

答弁 今後、市民説明会でご意見をいただくこととしている。

質問 市民の意見が全く反映されない段階で「決定事項」としたことに問題は無いのか。

答弁 これから予定している市民説明会でご意見を聴く機会を設けるため、問題は生じないと考えている。

質問 今回の請願に添えられた多数の市民の署名をどう受け止めているのか。

答弁 真摯に受け止めるとともに、市民が高い関心を持っていることは十分認識しており、計画実現に向け理解を求めていく。

質問 建設後の維持管理費、運営費の見込みとその財源は。

答弁 同程度の文化施設を参考に、年間およそ2千万円程度と見込み、一般財源を考えている。

質問 年間の入館者数はどれくらいを見込んでいるか。

答弁 展示室観覧者、カフェ利用、イベント参加者を含め、およそ2万人程度を想定している。

質問 維持管理費、運営費に加え、将来的には修繕費も必要になる。そもそも建設費も多額で、起債で返済する部分もある。未知数の入館者数を考えると、採算が取れるとは思えないが、採算を度外視しても建設し、維持する意味はあるのか。

答弁 くつろぎ、交流、表現の空間の創出に加え、社会教育施設として生涯学習の拠点にもなることを目指し、運営していきたいと考えている。

その他の質問

- ・ HUBリーディング
- ・ 業務委託について



松野 繁男

(仮称) 中野市美術館建設について

質問 建設場所に対する異論についてどのように理解を求めているのか。

答弁 開催予定の市民説明会のほか、広報なかの、公式ホームページ等を通じ、理解を求めていきたい。

消防団活動について

質問 大分県で大規模火災が発生したが、地元を熟知した消防団の的確な誘導で住民を避難させた。中野市には災害時の避難誘導のマニュアル等はあるのか。

答弁 現在、災害時避難マニュアルに基づき、避難行動要支援者名簿を活用した住民の避難誘導を実施している。

質問 火災鎮火後の残火対応は。

答弁 地元消防団員が交代で実施することになっており、岳南広域消防組合の定める要領に基づき中野消防署と連携し対応している。

市内路線バス永田・親川線について

質問 永田・親川線が来年4月1日から減便され、時間変更の計画である。どのような検討をされたのか。

答弁 利用の少ない便を削減し、利用者への影響が少ない運行ダイヤとなるよう関係者と協議してきた。

質問 JR飯山線との関係は。

答弁 影響が大きい中高生の通学を優先に運行ダイヤを改正した。

質問 ふれあいバスとの関係は。

答弁 従来通りバス停を確保し、市街地への接続が可能となるよう路線バス、ふれあいバスを維持していく。

南大原遺跡について

質問 約1千年前の住居跡が発掘されたが、歴史的な遺構として後世に残せないか。

答弁 遺構が見つかった区域は、遊水地の一部となる。遺跡を現状のまま保存できない場合、その成果を記録として後世に残す記録保存を行う。

中野シモンシモン美術館について

質問 戸別寄付を見直す考えは。

答弁 主催団体の考え方が尊重されるべきものであるが、経費が年々高騰する中で、お祭りを企画するためには一定程度の予算が必要となるため、今後ご理解いただきたい。

その他の質問

- ・ 「中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針」改訂(案)について
- 他



木村 芳隆



クマ対策について

質問 市へクマに関する情報があつた場合の現状の対策は。

答弁 市では市猟友会と連携し、出没した場所になを設置して、設置後の見回りなどをしてしているほか、市民から目撃情報を受けた際は、その情報を防災行政無線、すぐメールのほか、公式ホームページのクマ出没マップに掲載するなどの注意喚起を行っている。

質問 新聞に掲載された記事の中で緊急銃猟における捕獲者リストの作成について「分からない」とした理由は。

答弁 市猟友会と連携がとれているため、まずは捕獲者リスト作成の要否を検討する必要があると考えていることから、作成については「未定」という主旨で回答した。

質問 緊急銃猟の実施体制整備は。

答弁 緊急銃猟は市民の安全を確保するための最終手段であることから、市猟友会をはじめ関係機関と連携し、早急に実施体制を構築したい。

質問 緊急銃猟が可能となる状況は。

答弁 クマ等が人の日常生活圏に侵入していること、人への危害を防止

する措置が緊急に必要であること、銃猟以外の方法で当該個体を捕獲することが困難であること、銃猟により人の生命、身体に危害が及ぶ恐れがないこと。この四つの条件を全て満たすことが必要である。

質問 クマの生息域と人の生活空間を分けるゾーニングの導入は。

答弁 クマを人里に寄せつけないための対策として、地元区の理解を得て防除性能の高い電気柵や恒久柵の設置、緩衝帯整備を行っている。

住宅密集地における空き家対策について

質問 中心市街地の空き家の状況は。

答弁 令和4年に策定した中野市空家等対策計画では、市全体で1千33戸、うち315戸が市街地エリアにある。

質問 今後の対応は。

答弁 現在取り組んでいる空き家バンクの運営、空き家を活用する方に対する補助金の交付等、空き家の活用を図る取り組みを継続する。また、新たな取り組みとして、危険な空き家の発生を未然に防ぐため、空き家の所有者を対象とした除却費用に対する補助制度の創設や、相続等により空き家を取得した方に対して管理・活用に関する情報を提供するなどの取り組みを検討する。

その他の質問

・住宅立地に伴う擁壁について



中村 明文



職員について

質問 来年4月1日の職種別採用予定者は。

答弁 行政職、社会福祉士、保育士と一般事務職で、それぞれ若干名を予定している。

質問 来年度の職員採用試験の日程と採用予定職種や人数は。

答弁 日程については、今年度の応募状況などを考慮し、採用予定職種と人数については、退職者の状況などを考慮し決定していく。

質問 職員数減の職場への影響は。

答弁 業務の見直しや効率化等により、現在の職員数になったものであり、業務への支障はないものと考えている。

質問 会計年度任用職員の給与水準の格付け改善は。

答弁 正規職員の給与改定に準じて引き上げを行っており、また今年度から勤勉手当の支給を開始したことから、変更は考えていない。

質問 会計年度任用職員の来年度の採用予定人数は。

答弁 正規職員の配置状況や各部署の業務量を考慮し決定していく。

質問 会計年度任用職員の正規職員

への採用は。  
答弁 希望される方は、正規職員の採用試験を受験されている。

地域公共交通について

質問 中野木島線の休日の減便に対する代替交通の計画は。

答弁 運転手が不足していること、また、利用者が少ないことから、現在検討していない。

質問 今後の業者への財政支援は。

答弁 引き続き、国や県、関係市町村において、財政支援をしていく。

質問 飯山駅における新幹線とのバス接続の利便性の働きかけは。

答弁 新幹線やJR飯山線とのバス接続の優先度は低いため、接続の働きかけは予定していない。

質問 市内の公共交通空白区の交通弱者対策について、タクシイの利用補助の拡大は。

答弁 シルバーいきいき応援券や通院費等助成券があるので、公共交通におけるタクシイ利用補助は実施および検討はしていない。

質問 ライドシェアの検討は。

答弁 引き続き交通事業者の意向を確認し研究していく。

その他の質問

・財政について



(仮称)中野市美術館建設に係る  
市民説明会について

質問 どのような内容で開催するか。

答弁 9月の市議会定例会において、さまざまなご意見をいただく中で、今回開催することとした。基本設計の内容や市の考えを丁寧に説明し、計画実現に向け理解を求めていく。

質問 詳細な運営方法などはいつ頃明らかになるか。

答弁 運営や収支計画書については、具体的な時期まではわからないが、市民説明会後、一定のご理解を得た上で、議会において予算案などの審議の中で説明していく。

質問 市民説明会には、市長が出席し、説明されるということでしょうか。

答弁 市長が出席し、市民の皆さまにも説明していくつもりである。

中心市街地の将来ビジョンについて

質問 経済活動における中心市街地の将来への役割はどうか。

答弁 多くの課題があることは承知しているが、今後も「まちの顔」と

して、将来にわたり一定の役割を果たすべきものと認識している。また、商業機能の再生のみならず、居住や交流の機能も組み合わせ、人が通い集えるまちづくりも可能であると考

えている。

質問 事業者の後継者の確保や育成はどうか。

答弁 関係機関と連携し、事業承継や創業支援に関する相談体制を整えている。また、情報提供やネットワークづくりを通じて、地域商業の持続に向けた対応を進めている。

質問 将来への活力ある中心市街地に向けた対応は。

答弁 事業者が投資も含め、空き店舗活用の支援事業補助金など、より積極的な事業展開が図れる環境を整え、時代の変化に応じた柔軟な対応で持続的なまちづくりを目指している。

こどもの無償の学びの場支援について

質問 無償のフリースクール運営の評価は。

答弁 児童・生徒の保護者の負担軽減となり、利用しやすい環境を整えていただいていると評価している。

質問 具体的な支援はどうか。

答弁 県の運営補助のほかに、市の支援策の原案を詰めている。近隣自治体と連携した支援策も、他市町村の担当部署と協議を進めている。



(仮称)中野市美術館建設について

質問 基本計画案に根強い反対がある。オアシス公園への美術館建設見直しの請願と7千筆近い署名が提出されたことをどう見ているか。

答弁 市民の皆さまが高い関心を持っていることは十分認識している。計画実現に向け、予定している市民説明会で丁寧に説明し理解を求めていく。

質問 美術館建設は市長の公約にあるが、オアシス公園に造るという公約はなかった。建設場所に異論があるということではないか。

答弁 場所については、市の施設の中から、点数の一番高かった場所を選んだものである。

質問 立場の違いを超えて、あの場所には造らないでほしいとの意思表示がされている。市民は市長に白紙委任をしたわけではないと思う。だからこそ丁寧に進める必要があるのではないか。

答弁 真摯に受け止めており、白紙委任状をいただいたわけではない。公約は、ただの言葉ではなく、市民と私を選んでいただいた方に対する約束である。

中野市工場立地法準則条例案について

質問 条例制定によってどのような変わるのか。また、条例制定の理由は何か。

答弁 一定規模以上の工場の立地に対して満たすべき要件である「敷地面積に対する緑地の割合」等を緩和する内容である。工場の設置や増設を検討する企業からの相談が複数寄せられていることを踏まえ、法に基づき条例を定めることとした。

介護保険制度について

質問 どのような課題があるか。

答弁 主な課題は、制度の持続可能性の確保、地域包括システムの充実および認知症施策の総合的推進が挙げられる。社会構造の変化に対応するため介護人材の確保と生産性向上、給付と負担の検討が必要である。

質問 北信広域連合の特別養護老人ホーム入所待機者が150人を超えているという。次期計画にどう反映させるのか。

答弁 施設ごとに入所調整枠を設置することで、退所から入所までの空床期間の短縮をはかり入所の円滑化に取り組んでいる。引き続き必要な施策の取り組みを検討する。

その他の質問

・学校教育について



笠原 豊



**ユースセンター設置促進について**

質問 ユースセンターの必要性は。

答弁 若者が悩みを気軽に相談でき、安心して過ごせる居場所であり、また、運営等に主体的に関わることで、若者の成長や社会参画を促すことができる意義ある場と考えている。

質問 設置の促進の考えは。

答弁 現在検討を進めている小中学生や高校生の居場所づくりを優先的に考え、ユースセンターへのステップアップを検討する。民間団体が設置する場合は積極的に支援していく。

質問 ユースワーカーの育成は。

答弁 若者の主体的な活動を支え、成長を後押しする重要な存在であり、その育成と支援も研究を進めていく。

**小中学校体育館への空調整備の加速化について**

質問 整備状況と今後の計画は。

答弁 スポット式のエアコンや大型扇風機を設置している。現時点で具体的なものはないが、近隣自治体の事例を参考に空調方式、断熱に係る整備内容を参考に、整備の推進に向けた計画を検討していく。

質問 避難所としての小中学校体育館の空調整備は。

答弁 本年、寒さ対策として石油ストーブを優先開設避難所に配備した。今後は暑さ対策にも配慮していく。

**公共施設への防犯カメラ設置について**

質問 公共施設などに防犯カメラを無償提供する民間団体との連携は。

答弁 サービス内容、条件をはじめ、公共施設が持つ課題などを判断し、連携が可能な施設については、積極的に検討したい。

**ふれAータクシーの廃止と高齢者移動支援について**

質問 今年度末で廃止する理由は。

答弁 利用実績、運転手不足、民業圧迫等の理由から決定した。

質問 代替交通手段の検討は。

答弁 路線バスの見直しのほか、今後よりよい公共交通施策を研究するよう把握していくのか。

質問 高齢者等実態調査やシニアクラブ連合会などから広く意見を伺っていく。

その他の質問

・中野市総合防災訓練に合わせた自主防災組織ごとの訓練実施について



本田 将伸



**中山晋平の顕彰について**

質問 現状の取り組み状況はどうか。

答弁 童謡「證城寺の狸囃子」誕生百周年記念事業として、コラボ企画による限定パッケージのカップ麺の販売やプレゼント企画のほか、晋平メロデー総選挙の実施や記念コンサートを実施している。

質問 小中学校での取り組みは。

答弁 今年度で62回目となる中山晋平記念音楽賞の作曲募集を行ったほか、児童・生徒や来校者の目に触れるよう、廊下や音楽室に写真と代表作の歌詞の表示、校外学習にて記念館の見学等、各学校においてさまざまな方法で取り組んでいる。

質問 映画「シンペイ 歌こそすべて」が公開されたことにより、記念館の来場者数に変化はみられたか。

答弁 映画公開による来場者の増減については把握していないが、来館された方からの「映画を観た」といった声があるなど、一定の効果はあったものと感じている。

質問 市民に映画を鑑賞する機会を設ける考えはあるか。

答弁 現在考えていないが、今後、要望の状況により、市民会館ソラ

ホール等での上映について検討していく。

**学校でのクマ対策について**

質問 クマ出没等があった際の児童・生徒、保護者への対応は。

答弁 市教育委員会では農業振興課と情報を共有しており、出没時には当該地区の中学校区に属する小・中学校へ、その都度連絡を行っている。学校では一斉メールの送信により、注意喚起や集団登下校等の対応状況を保護者に伝達するほか、通学路を通行することが危険であると判断した場合、保護者に送迎を依頼するなど、より安全に配慮した対応を行っている。また、クマ撃退スプレーやクマ除け用鈴の配布の準備も進めている。

質問 長嶺地区通学路周辺でのクマ被害が多発していることから、通学支援の通年実施を行う考えはあるか。

答弁 現在、長嶺地区の児童については、冬期間に限りバスの定期券交付と、市の通学バスの運行による通学支援を行っているが、一部地域に限って、クマ出没による通年の支援は考えていない。引き続き、学校や警察等に協力をいただきながら、対策を講じていく。

その他の質問

- ・不登校児童・生徒の実情について
- ・手話の普及・理解推進について

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案5件、予算案2件、事件案3件について、12月12日に審査しました。主なものとして、令和7年度中野市一般会計補正予算（第6号）について、歳出のうち総務費では、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民一人につき1万円分の商品券を配布する第6弾の地域支え合い商品券事業費4億3千288万円の増額をするものです。この事業については、市民生活の物価高に対する支援で、広く市民生活の安定、安心を図るものであり、また、市の経済の活性化と成長を見込めるもので評価できる。市民に商品券を早く届けていただくとともに、商品券が利用できる店舗をできるだけ拡大していただきたいとの要望を付した賛成意見があり、原案どおり可決されました。

事件案では、中野市豊田情報センターの指定管理者の指定について、令和8年4月1日から新たに同施設の指定管理者を指定するものであり、原案どおり可決されました。

そのほか、条例案5件、予算案1件、事件案2件につきましては、いずれも原案どおり可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案4件、予算案5件、事件案2件、請願1件、陳情1件について、12月12日に審査しました。主なものとして、予算案では、令和7年中野市一般会計補正予算（第6号）について、民生費では、国の交付金等を活用して子ども1人当たり2万円を給付する物価高対応子育て応援手当給付事業など1億2千960万円を増額するもので、原案どおり可決されました。

中野市美術館建設基本計画の再検討を求める請願については、「今後、市民説明会が開催予定であり、国の交付金が採択され、基本設計に着手した今、計画を一旦保留にするほどの問題が生じているとは言えない」との請願に対する反対意見、「国の交付金を受けるための認定基準には、地域住民の合意を得ていることである。建設反対の署名が集まっていることから、市民の声を聞いて、十分な合意形成を図る必要がある」等の請願に対する賛成意見があり、採決の結果、賛成多数で採択と決しました。

そのほか、条例案4件、予算案4件、事件案2件につきましては、いずれも原案どおり可決。陳情1件につきましては採択と決しました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案4件、予算案3件、事件案2件について、12月12日に審査しました。主なものとして、条例案では、中野市火入れに関する条例案について、森林または森林の周囲1kmの範囲内にある土地で火入れ（造林のための地ごしらえや開墾準備、焼畑など）を行う場合の許可の手続きなどについて新たに条例を定めるもので、原案どおり可決されました。

中野市工場立地法準則条例案について、企業の設備投資や企業誘致の促進を図ることを目的に、工場立地法に基づく緑地、環境施設（噴水、屋外運動場、広場、太陽光発電施設など）の面積割合の基準を緩和するため新たに条例を定めるもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和7年度一般会計補正予算（第5号）について、農林水産業費では、雪害・雹害対策事業補助金245万円の増額のほか、債務負担行為補正では、公共事業の施工時期の平準化のため道路の舗装修繕工事等について、いわゆるゼロ債務負担行為を設定するもので、原案どおり可決されました。

そのほか、条例案2件、予算案2件、事件案2件につきましては、いずれも原案どおり可決されました。

## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。  
インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでも本会議の様子を視聴することができます。是非、ご覧ください。

### 視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継 平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



中野市議会HP

## 意見書

## 〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

## 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書

国による医療費削減政策が押し進められる中で、公定価格である診療報酬は上がらず、昨今の物価上昇に対応していない。また、医療や介護・福祉従事者の賃金を他産業と同じように上げることも難しく、人員不足にもつながっている。救急の受け入れや入院の受け入れを制限する病院が相次ぎ、開業医の閉院も起きている。出産ができる病院がない市町村も全国で1,042市町村を超えている。

医療機関は過去最大の規模で倒産、廃業が進み、深刻な経営危機に陥っている。地域住民の医療を受ける権利が困難な状況にあると言える。日本医師会・6病院団体(日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会・日本慢性期医療協会・全国自治体病院協議会)は、「このままでは、ある日突然病院がなくなります」「地域医療は崩壊寸前」と警鐘を鳴らした。このままでは医療機関がなくなり、医療にかかれぬ地域が全国でさらに

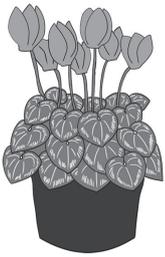
広がるものが強く懸念される。

また、政府は看護師、保健師、介護士、障害福祉などのケア労働者の賃金引き上げを2021年に打ち出したが、その効果は極めて限定的である。

よって、中野市議会は、国に対し、国民の負担増にならないよう、政府の責任において医療や介護・福祉事業の安定的な維持発展と、全てのケア労働者の処遇改善のために、下記の事項について強く要望するものである。

## 記

- 1 2026年度の診療報酬改定と合わせ、1年前倒しで介護・障害福祉サービス等報酬改定を実施すること。
- 2 全ての医療機関と介護・福祉事業所の物価高騰対策も含めて、各10%以上の引き上げ改定を実施すること。また、当面の支援策として、2025年度中に全額公費による賃上げ支援策を実行すること。



## 請願

◎中野市美術館建設基本計画の再検討を求める請願

請願者

中野市美術館建設基本計画の再

検討を求める実行委員会

代表 市川 董一郎

## 陳情

◎診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情

陳情者

長野県医療労働組合連合会

執行委員長 小林 吟子

外1団体

●請願・陳情はいつでも受け付けていますが、各定例会(3・6・9・12月)の前月15日(土曜日・日曜日・休日にあたる)ときは、翌開庁日の午後5時までに提出されたものを、当該議会において審査します

## 議会傍聴規則の改正

市議会では、昨今の社会情勢の変化などを踏まえ、中野市議会傍聴規則を、より分かりやすい表現に変更、見直しを行いました。

市民の方に傍聴していただきやすい環境整備に努め、開かれた議会を実現するため、今後も社会情勢の変化などに応じて適宜見直しを行います。

●傍聴規則の改正内容、傍聴に当たっての注意事項など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。



傍聴規則の改正はコチラ



傍聴にあたってはコチラ



請願・陳情等の提出方法はコチラ

審議結果・賛否の分かれた議案

12月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第17号	令和7年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第2号	中野市特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第18号	令和7年度中野市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第3号	中野市選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者に対する実費弁償支給条例の一部を改正する条例案	可決	議案第19号	令和7年度中野市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第4号	中野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第20号	財産(情報通信伝送路設備)の無償譲渡について	可決
議案第5号	中野市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第21号	中野市豊田情報センターの指定管理者の指定について	可決
議案第6号	中野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第22号	中野市子育て支援拠点施設の指定管理者の指定について	可決
議案第7号	中野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案	可決	議案第23号	中野市営野球場ほか12施設の指定管理者の指定について	可決
議案第8号	中野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第24号	中野市観光会館・日本土人形資料館の指定管理者の指定について	可決
議案第9号	中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第25号	中野市まちなか交流の家の指定管理者の指定について	可決
議案第10号	中野市火入れに関する条例案	可決	議案第26号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額について	可決
議案第11号	中野市工場立地法準則条例案	可決	議案第27号	令和7年度中野市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第12号	中野市観光特産館条例を廃止する条例案	可決	請願第7号	中野市美術館建設基本計画の再検討を求める請願	不採択
議案第13号	中野市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決	陳情第9号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	採択
議案第14号	令和7年度中野市一般会計補正予算(第5号)	可決	議第1号	中野市議会会議規則の一部を改正する規則案	可決
議案第15号	令和7年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	議第2号	中野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決
議案第16号	令和7年度中野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	議第3号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書について	可決

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	木村芳隆	渡辺菊男	土屋博	笠原豊	江口栄光	本田将伸	中村明文	中村秀人	塚田一夫	松樹純子	宮島包義	宇塚千晶	芦澤孝幸	小林忠一	阿部光則	松野繁男	原澤年秋	高野良之	芋川吉孝	高木尚史
議案第11号	中野市工場立地法準則条例案	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	×	○	○	○	○	×
議案第22号	中野市子育て支援拠点施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○	×
請願第7号	中野市美術館建設基本計画の再検討を求める請願	△	×	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	議	○	×	×	○	○	○	×
陳情第9号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス報酬10%以上の引き上げを求める陳情	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議第3号	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス報酬10%以上の引き上げを求める意見書について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席  
 ※ 議は議長(可否同数以外は表決に加われません)

北信3市議会正副議長会

12月18日、中野市役所において、北信3市議会正副議長会を開催しました。

当日は、須坂市、飯山市、中野市の正副議長が集まり、地方自治法の改正に伴う議会の対応や議事運営の方法など、当面する諸課題について協議を行いました。



北信3市議会正副議長会

表紙の説明

2026年は「午年」です。古くから、力強く前へ進む姿から、物事が順調に進む年、運氣が上向く年ともいわれています。さらに、今年が60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年。火の性質を持つ「丙」と行動力を象徴する「午」が重なることで、情熱や勢いが高まり、エネルギーに満ち溢れた一年になるとも言われています。

日本土人形資料館やまちなか交流の家では、表紙の作品をはじめ、さまざまな土人形をご覧になれます。この機会に両施設を巡ってみてはいかがでしょうか。



11月臨時議会

○会期 11月5日 1日間

○議案件数および議決結果

- 予算案 1件 可決
- 令和7年度中野市一般会計補正予算（第4号）
- 事件案 1件 可決
- 中野市営野球場スコアボード電光掲示板化工事請負契約の締結について

令和8年3月中野市議会定例会会期日程（予定）

○開会日 3月2日（月曜日）

○市政一般質問 3月9日（月曜日）  
10日（火曜日）  
11日（水曜日）

○委員会 3月12日（木曜日）  
13日（金曜日）  
16日（月曜日）

○閉会日 3月19日（木曜日）

○請願・陳情について

3月定例会における請願書および陳情書の受付は、2月15日（木曜日）の午後5時までです。  
※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第6代後期議会だより編集委員名簿

（順不同）

委員長 中村 明文  
副委員長 塚田 一夫  
委員 渡辺 菊男  
土屋 栄光  
江口 将伸  
本田 純子  
松樹 忠一  
小林 光則  
阿部 良之  
高野

あとがき

2025年の「今年の漢字」は「熊」でした。応募数が一番であった漢字とのこと。昨年は、全国各地でクマが出没し、多くの方の関心や不安が集中した年でありました。本市でも多くの場所でもクマが出没し、市からの注意喚起の放送などを幾度となく耳にしました。

さて、これから春になると、冬眠明けのクマが餌を求めて人里にでてくる可能性が高まります。クマ対策としては、いわゆる緩衝帯を設けたり、餌になるようなものの置き場に気を付けたりするなど、クマを人里に誘引しない環境づくりが必要です。また、地域ぐるみの対策とあわせて、日々の生活の中で、クマとの遭遇を回避するための行動をとることも重要です。共生への模索は続きます。

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりをお読みになったのご感想やご意見などがありましたら中野市議会までお願いします。

FAX (22)5922  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

